

京都市コミュニティセンター転用計画素案（第二次分）に関する御意見一覧（意見書分）

No.	御意見・御提案の内容 (特定のコミュニティセンターに関する御意見の場合は右側の欄に名称を記載して)	対象
1	私は楽只鷹峰コミュニティセンターに集会場などかいてありますがこれはぜひ必要だと思います。なぜなら、もし困ったことがおこった場合、これをつくっておけばお互いに、意見を出し合って、よい対策ができるのでこれはぜひ必要だと思います	楽只鷹峰
2	劇団をやっている養正はじめいくつかのコミュニティセンターを使っています。それまでは市内に6つある青少年活動センターを使ってましたが21年度より有料化、それも1H800円など。ひとつの公演をするのに何十万かかりそうでこちらに来ています。 京都市は大阪などに比し、こういう貸会場が少ないので、ぜひこの方針どおり来年も貸館をつづけてほしい。職員の人もととても親切で、帰るとき「お疲れさま、お気をつけて」と声かけて下さり、あき状況などTELでたずねてもとてもやさしく教えて下さり、快適にすごしています。(土)(日)がいちばんメンバーがそろうのでぜひ(土)(日)もあけて下さい。9じぎりぎりに出ても(たまには1~2分すぎても)、やさしく見送って下さる職員の人にもいつも支えてもらって活動でき、うれしく思っています。	養正
3	市は当初から使用料をとると言っていたのに、第一次分の転用素案でそれを隠したいのか明記せず、「市民意見」の中で「明記せよ」という意見があったから今回の二次分の素案には「貸館」の方針のところのいちいち「有料」という記述をしている。市民から言われたら書く(ずっと前からその方針をもっていたにもかかわらず)という姿勢が、コミセンのもっていき方(市の)すべてを象徴している。ポーズが多く積極的に多くを語ろうとしない。その線でいえば、「市民意見」の中に(土)(日)の開館をという意見があり、その答で(本市の基本的な考え方のところにも休日の開館も検討してまいります)(1ページ)と書いているのにこの二次素案に「有料」で「(土)(日)開館」この二本柱の一本しか記述してない。というのは、自身も持っている方針をまた小出しにしてははっきり言わないという市のあいまいさ、それが諸悪の元です。	
4	現在、本館の大会議室にて週2回社交ダンスサークルをしています。別館に、同じかそれ以上の広さの部屋があれば、そこを借りて活動を続けたいと思います。 有料化するのには問題ないです。 安い方がよいですが...	錦林
5	私は終戦の年に生まれた人間です。 ここ最近やっとこちらでのスポーツ(卓球)を楽しむ様になりました。 これから高齢を迎え唯一の趣味として楽しむ事が出来る様になったのでこちらのコミュニティがなくなるとなるととても寂しく思います。 仮り有料化になるとすると又負担となってしまって遠ざかる事になる事でしょう。 極力、現在を維持して戴けたらと思います。今以上に又いろんな事に利用できる所になればそれも良いかとも思います。	山ノ本
6	一般の人たちに多く活用されるのはいいのですが、有料となると、今まで気軽に利用していた人たちがこられなくなるのではないかと思います。 有料化はやめてほしい	山ノ本
7	市民文化に物を申す 市役所はもっと人の意見を聞いて事業を進める事	
8	元から有料で借すべきだったと思います。税金のむだ使いと言われても仕方のない事だと思います コミュニティにしる福止センターにしても有料はあたり前だと思います それでつづけて行ってほしいと思います。	三条
9	第二次分て、何次分まであるの、いつも返事を書く時は遠い所の娘に電話して来てもらふか〇〇さんに、書いてもらうか、困まる事が、おおいのでいつになったらりんぼかんに入ってくるのか、前への様に相談できて、話を出来るのか早く前のやうになってほしい、字のしらないのと、いみのわからない者は生きるのが大変だし、話のわかる人が、二、三人ほどまわしてほしい！りんぼかんが、空てをくのがもったいないと思ふ。三条の人は、ぜんぶ、話の訳る人ばかり、と思へないが、どんなにしてるのか教へてほしいぐらいや こんな手紙も自分だけかと思ふと、いやになる、だからといつて書づにいられない、し、なんとか、じむしょうに誰かそうだんする人がいてほしい かしこい人ばかり、かたまつて何してるのや？こんど会があると云ふが私は目が悪いし耳のこまくが、やぶれて医者にいつてます、夜の会に出たいが、こけたらどうすると家の者にいわれるし、主人は入院してるし私は一人です。	三条

京都市コミュニティセンター転用計画素案（第二次分）に関する御意見一覧（意見書分）

No.	御意見・御提案の内容 (特定のコミュニティセンターに関する御意見の場合は右側の欄に名称を記載して)	対象
10	<p>左京区には他区にある青少年活動センターがありません。子どもの権利条約の観点からみても、集会・結社の自由を時間的、空間的、金銭的にも保障すべきと考えます。</p> <p>ひと・まち・京都ボランティアセンターの様なものをあんなに立派でなくとも使い易い、多目的に、多勢でも使えるものにしてほしい。</p>	養正
11	<p>コミュニティセンターの市民レベルでの有効活用を図るご英断に敬意を表します。有効活用については、ひと・まち交流館京都の補完機能を期待します。具体的には</p> <p>1. 多目的ホール、別館等を催しもの会場として一般開放してほしい。 ひと・まち交流館京都の会議室で、子ども理科実験教室、公開講演会等を行っているが会場確保に苦慮する状況が続いています。当所もこれら行事に使わせていただきたい。必要なら一部の間仕切りを外す等して、別館も含め対応してほしい。</p> <p>2. 貸しスモールオフィスを設置してほしい。 ひと・まち交流館京都タイプのスモールオフィスを設置してほしい。ただし、現行のものは3年で退去せねばならないが、当会を始め多くの市民活動団体はボランティア団体であるから、退去後の事務所確保が困難である。このため、機械的な入居年限制限は撤廃していただきたい（毎年入居資格審査を行う等して）。</p>	三条
12	<p>旧コミュニティセンターの市民レベルでの有効活用を図るご英断に敬意を表します。有効活用については、ひと・まち交流館京都と一体運営願いたい。その中で、</p> <p>1. 多目的ホール、別館等を催しもの会場として一般開放してほしい。 多目的ホール等を、現在ひと・まち交流館京都の第4または第5会議室で行っている子ども理科実験教室、公開講演会の会場に使わせていただきたい。必要なら一部の間仕切りを外して、別館も含めて対応をしていただきたい。</p> <p>2. 貸しスモールオフィスを設置してほしい。 ひと・まち交流館京都タイプのスモールオフィスを設置してほしい。ただし、現行のものは3年で退去せねばならないが、当会を始め多くの市民活動団体はボランティア団体であるから、退去後の事務所確保が困難である。このため、機械的な入居年限制限は撤廃していただきたい（毎年入居資格審査を行う等して）。</p>	崇仁
13	<p>毎週金曜日の午後楽只コミュニティセンターで社交ダンスを楽しませて頂きありがとうございます</p> <p>高齢者の同好会で皆さんと踊っておしゃべりして、おかげさまで元気に過せることほんと嬉しいです</p> <p>高齢者になっても毎日明るく元気に過ごせますように楽只コミュニティセンターを使用させて下さい お願いします</p> <p>23年から有料化になるようですが年金生活者の集りですので できるだけ低額で使用させて頂けたら幸いです</p>	楽只
14	<p>高齢者の活動の場として、貸しホールにしてほしい。</p> <p>1 北区は老人ホームが整備されていない。</p> <p>2 高齢者が体を動かして、健康を維持する設備がほしい。</p> <p>3 家から外に出て、大勢の人と会うだけでも健康につながる。そのお手伝いの場として貸しホールにしてほしい</p> <p>4 設備があれば、老人倶楽部の活動種目が増えて、参加者も増える。</p> <p>5 その結果高齢者が健康になり明るくなる。（医者に行く回数が減って医療費が少なくなる）</p> <p>6 利用者にとって、使用料は安いほど良いが、施設の維持費も必要で、有料になるのは仕方がない。年金生活者が利用できるくらいにしてほしい。</p>	楽只
15	<p>サークル室を借りています。気に入ってます。ただ、葬義で使用する事がある場合は急に当日借りられなくなる と説明をうけ、変だと思いました。メンバーへの連絡も大変ですが（来年、有料ならもっとややこしいと思う）そもそも貸館なのに葬義に使用すること事体おかしいことと思います。葬義の使用は廃止すべきだと思います。</p> <p>もう一点 有料になるのなら駐輪場を設置していただきたいと思います。</p>	岡崎

京都市コミュニティセンター転用計画素案（第二次分）に関する御意見一覧（意見書分）

No.	御意見・御提案の内容 (特定のコミュニティセンターに関する御意見の場合は右側の欄に名称を記載して)	対象
16	活動支援施設として転用することと言われてはいますが行政の責務について、地域住民に反映できてない取組ではないのですか。 以前は職員が在中の時は夜の9時迄であり、有料化したいと考えておられるなら各コミュニティセンターの1年間の経費をベースに資料を市民に提出すべきでないか。意見を書く事ばかりで誰れも、知らないうちにまとまり次第の報告にすぎない どころが所管しているのか 各区役所か人権文化が幅広い意見をきく事が正しいのか 各行政の施設周辺にあるな中意見をきならなぜ周知しないのか。公の責任として有料は反対。	山ノ本
17	いつも卓球台等おかりして地域の健こう作り（保けん所のけんこうサポーター）で作わせてもらってます 今年度は山ノ本コミュニティセンターをかりて地域の方々保けん所でおしえて頂いた運動をひろめようとていあんしています。 無料でかりれる数少ないコミュニティセンターを有こうに使う為いろいろかかえてますので有料になったら何もできなくなります。	山ノ本
18	月2回利用させて頂いており、大変助かっております。 近くにこのような良い場所が無く、コミュニティセンターさんが無くなると非常に困ります。流しもあり、とてもありがたく利用させて頂いております。どうか、このまま継続させて下さい！！ お願い致します。	中唐戸
19	私達の生きがひにしてあるこの場所を、なくさないで下さい。もう生くばくも生きられないと思つて喜んでたのしんであるのになくさないで下さいませ。もう後は早く死ねと言つてる様にきこえます。どうかお願い申し上げます。おいといて下さいませ。	三条
20	ぼく等のたのしみ場所を、取らないでここで皆んなと合つてお話しをしたり歌たりするのは体のせんとく生きがいです。どうかおいて下さいませ。健康のためですからお願い申し上げます。	三条
21	コミュニティセンターで月曜日と木曜日にカラオケにいます。ここがなくなるとはさびしいです。カラオケがとしよりのいちがいです。どかのこしてください。	三条
22	いつも、三条コミュニティセンターで、カラオケを楽しんでいる年寄りのおばあちゃんです。ここが、なくなると、私の人生が、淋しくなります。どうぞ、今まで通り、ここを、残して、下さい。楽しみを、なくさないで下さい。大きな声で唄わせて下さい、お願いします。 カラオケ大好きな、おばあちゃんより。	三条
23	新しい施設として生まれ変わらせるのであれば、委託先ではなく市職員を現場に配置して運営して欲しい。	山ノ本
24	「〇〇会」では、毎月、班会議を開いています。生活の事や、健康の事、悩みなどを話し合う大切な場所です。その会場を決めるのに、いつも苦勞しています。 予算が無いため、貸していただく会場は限られています。 無料で借りられる会場は、何よりもありがたいと思っています。来年度も、無料で使用できることを望みます。 弱い立場の人々も、お金がかからずに活動ができるようよろしく申し上げます。	壬生
25	・会議室等の貸館について有料化を前提とするのであれば、平日に勤務している方のことを考慮して、土・日・休日も利用できるようにすべきではないでしょうか。また、現在の貸館の利用状況及び稼働率が将来的に減少することも予想されることから、行政サービスの窓口として証明書等の発行コーナーや確定申告時における臨時相談会場の設置、近隣企業への貸館の促進(直近では、京阪電鉄開業100周年事業とのタイアップ等)も考えられます。 ・京都市内においては、北部にツラッティ千本、南部に柳原銀行記念資料館がありますが、それらの中間点として三条コミセンに天部歴史資料館の設立を希望します。室町時代から続く「あまべ」の歴史の研究と人権啓発を融合したまちづくり、また地域の学校としての協同夜学校の取組等を展示し、京都市職員、学校関係者及び企業等の人権研修に活用する。利用者増加のため、ツラッティ千本と柳原銀行記念資料館とのスタンプラリーの実施や、イトインコーナーを設置し、地元の食べ物を紹介する。三条地区は交通の便もよいことから市バス・地下鉄での来館をPRすることで交通局の増客施策にもつながるのではないのでしょうか。	三条

京都市コミュニティセンター転用計画素案（第二次分）に関する御意見一覧（意見書分）

No.	御意見・御提案の内容 (特定のコミュニティセンターに関する御意見の場合は右側の欄に名称を記載して)	対象
26	<p>以前、2階にあった図書館はどの様になっているのでしょうか？ 子供達が調べ物をしに来たり、テスト前に友達と勉強したりしていたのですが、もう一度そういう場を作っていただきたい</p> <p>収入を、おかんがえならば、習字や、そろばんなども、そして、いご、しょうぎ、ヨガなど、地域から、先生をつのって、いつも人が集まっているという状態にしていただいたら良いのではと思いますがどうでしょうか？ この地域には、その様な、場所が少ないので</p>	
27	<p>私達障害者団対はコミュニティセンターは絶対に必要としています。障害者にとって地域での活動しか出来ません。車イスや介助を受ける身では遠くへは行けません。今の所は会員さんはつどいには喜んで参加されています。ここがなくなれば会の方も続くかわかりません。会員同士の社交の場です。 ぜひ存続をお願い申し上げます。 会員の世話人も皆さん障害者です。</p>	中唐戸
28	<p>用事で何日来ても留守が多い 自分の関係のない用件（受付）は不親切 留守の場合何時頃居るか表時する</p>	
29	<p>京都市辰巳コミュニティセンター転用計画に対して、その趣旨とされています広域的な利用を進める上で、何が良いのかを当地の市民が求めるニーズとともに捉えご提案させていただきます。</p> <p>提案にあたりましては、現状の醍醐支所管内と京都市辰巳コミュニティセンターが所在する春日野学区を中心とした日常生活圏域を意識して必要となる市民ニーズを人口動態から導く方法を採用致しました。</p> <p>平成12年及び平成17年の国勢調査の統計をもとに見てみますと、全国的な傾向でもありますが、少子高齢化への動きが加速していることが当該地区においても顕著に現れています。</p> <p>平成17年の国勢調査から見ると醍醐支所全体で、京都市全体平均と同様の20%の高齢者率を示しており、春日野学区も同様の傾向にあり、前回の国勢調査と比較しても65才以上の高齢者率は5%程度の高い上昇値を示しています。</p> <p>進む高齢化に伴い地域において見守り、介護といった新たな現象に対し日常生活の中で向き合う時代が例外なく当該地区に訪れていることを示しています。</p> <p>後期高齢者の増加も統計的に顕著であり、今後全国的にも増えていきます認知症高齢者の数も比例して当該地区でも増えると想定されます。在宅介護において介護されるご家族の負担は大きいものです。一つの社会問題にもなっておりますが、特に認知症高齢者の介護の負担はその中でも大きいものといわれています。相談できる場所や一時的にケアして頂ける場所が地域の身近な所があればというのは、市民の求めるニーズであると考えます。</p> <p>以上のような現状を踏まえて、今回の京都市辰巳コミュニティセンターの転用計画へのご提案として市民ニーズに対応した広域的な利用ができる地域密着型サービスの提供の場として、現在の建物をリノベーションし、「認知症デイサービスを併設した小規模多機能施設」や認知症の方々が入居されます「グループホームや認知症ショートステイ」などの施設にコミセン機能を一部継続しつつ転用されることをご提案させていただきます。（以下は具体的な転用案） 本館…1階：認知症デイケア施設・福祉110番スペース、2階：小規模多機能施設 分室：コミュニティースペース 別館…1階：児童施設、2、3階：グループホーム 福祉センター…従来どおり</p>	辰巳
30	<p>三条コミュニティセンターから職員を引き上げて以来、日常で困ったことがあっても職員に頼ることができなくなった。転用するのであれば、以前のように何でも気軽に相談できるような施設にしてほしい。</p>	三条
31	<p>市民活動を支援する施設なら当局の考え方をしめして、住民(市民)にとすべきでないか 有料化には反対でないが場所のにおいて利用する人があるのか 一部の意見で市民の何%とが賛成したのか もう少しまじめに考えてほしい</p>	中唐戸 山ノ本 久世

京都市コミュニティセンター転用計画素案（第二次分）に関する御意見一覧（意見書分）

No.	御意見・御提案の内容 (特定のコミュニティセンターに関する御意見の場合は右側の欄に名称を記載して)	対象
32	<p>地域の会館として利用活用について施設が交通の便が悪い所、施設の近くに民家少ない所等色々な条件があると思います。どんな所であれ施設に馴染易く足を運んでもらう事が第一と思います。</p> <p>それには 企画をたてゝ人が集まり易い状態 貸館にして人が来るのを待つのではなくこちらから足を運んでくれる状態に持って行く。その間に段々と広がって行くと思っています。</p> <p>利用料金も無料とは人件費管理費がいると思うので低料金で貸していたゝける事を願っています。掃除も使用した人が後片づけし掃除をして帰る位はしてもよいと思っています。</p>	<p>養正 中唐戸 山ノ本</p>
33	<p>コミュニティセンターの一般市民への開放ありがとうございます。</p> <p>ひと・まち交流館京都と同様にさせていただきたい。例えば、多目的ホール、別館等を、必要なら整備して、以下の様な利用ができるようにさせていただきたい。</p> <p>1. 公開講演会、子ども理科実験教室、各種相談会等のボランティア活動</p> <p>現在はひと・まち交流館京都の第4あるいは第5会議室を使っているが、使用希望者が多く使えないことも多い。なお、この場合、机、椅子、プロジェクター、マイクが必要。</p> <p>2. ボランティア団体用の貸しスモールオフィス</p> <p>ひと・まち交流館京都タイプのスモールオフィスを設置してほしい。ただし、同館のものは3年で退去せねばならない問題がある。多くの市民活動団体はボランティア団体なので退去後の事務所確保が困難であるため、活動実態がある限り入居年限制限なしにしてほしい。なお、この場合、インターネット環境が必要。</p>	<p>三条</p>
34	<p>コミュニティセンターの一般市民への開放ありがとうございます。</p> <p>ひと・まち交流館京都に近いこともあり、ひと・まち交流館京都のランチとしてまたはそれに類する運用をしていただきたい。例えば、多目的ホール、別館等を、必要なら整備して、以下の様な利用ができるようにさせていただきたい。</p> <p>1. 公開講演会、子ども理科実験教室、各種相談会等のボランティア活動</p> <p>現在はひと・まち交流館京都の第4あるいは第5会議室を使っているが、使用希望者が多く使えないことも多い。なお、この場合、机、椅子、プロジェクター、マイクが必要。</p> <p>2. ボランティア団体用の貸しスモールオフィス</p> <p>ひと・まち交流館京都タイプのスモールオフィスを設置してほしい。ただし、同館のものは3年で退去せねばならない問題がある。多くの市民活動団体はボランティア団体なので退去後の事務所確保が困難であるため、活動実態がある限り入居年限制限なしにしてほしい。なお、この場合、インターネット環境が必要。</p>	<p>崇仁</p>
35	<p>1. コミュニティセンターを、久世第2出張所として活用して下さい。</p> <p>理由－久世出張所の活動を拡大して、期日前投票日の延長(現在3日間)、乳幼児の検診生活保護の申請等、区役所まで行かなくてよいように。</p> <p>2. 貸館として活用も</p> <p>その場合、市が管理運営を。売却して利用が少い場合、貸館の機能がなくなると困ります。</p>	<p>久世</p>
36	<p>平素はあらゆる人権問題の早期解決に向け多大なるご尽力を賜ります事に対し、衷心より厚く感謝申し上げます。</p> <p>さて、この度、「京都市同和行政終結後の行政の在り方総点検委員会」の「最終報告書」を踏まえ、平成22年度末をもってコミュニティセンターを廃止する事が決まりました。</p> <p>この事を踏まえ、全市的な観点や市民の声を反映し、新たに「転用計画」として「素案一次分＝楽只・岡崎・吉祥院・上花田・改進黨」を策定し、地元説明会及び市民意見募集を経て、この度、正式に確定されました。</p> <p>次に、「素案二次分＝楽只鷹峯・錦林・養正・壬生・三条・崇仁・中唐戸・山ノ本・久世・辰己」の素案が公表され、現在、市民意見募集と地元説明会が行われています。</p> <p>私どもは、「素案第一次分」の際に、地元住民の意見が反映され、交流促進と協力体制が得られる転用計画を要望致しました。</p> <p>従いまして、「素案第二次分」につきましても、下記の通り要望致しますので、ご高配賜りますようよろしくお願い致します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>「素案第一次分」では、京都市が提案する計画ありきに進められ、地元住民の声が十二分に反映されたとはいえない状況にありました。</p> <p>「素案第二次分」では、まずは地元住民の声を反映し、見直すところは見直し、修正するところは修正し、柔軟な姿勢で対応するよう要望致します。</p>	<p>すべて</p>

京都市コミュニティセンター転用計画素案（第二次分）に関する御意見一覧（意見書分）

No.	御意見・御提案の内容 (特定のコミュニティセンターに関する御意見の場合は右側の欄に名称を記載して)	対象
37	<p>高齢者となりなにか体を動かすことをしたいと思った時に社交ダンス、太極拳を指導している先輩の友人に出会いました。「会場があれば無料で時間の空いている時に行きます」と心良い返事!!近くの集会所や体育館等動ける範囲で探し廻りました。そこで出会ったのが辰己のコミュニティーです。利用して2年今ではすっかり起動にのり会員も増え和気あいあい練習の日を楽しみにしております。</p> <p>事ム所の職員の皆様も笑顔で心良く受け入れて頂き本当に感謝致しております。会場費はもちろん有料になってもかまいません（でもあまり高くしないで）私の場合は自転車です。25分雨の日も休まず参加しています。それだけの値打ちがあるからです。どうか会場の存続をお願いします。</p>	辰己
38	<p>① 今後も利用させてほしい。 ② 使用料は高令者なので、なるべく低額でお願いします。 ③ 申込みは、直筆ですみますようお願いします。 ④ 駐車場は有料でも良いので貸して下さいますようお願い致します</p> <p>利用させて頂き本当に有がたく思っています</p>	
39	子ども達や、バレーで使う為	吉祥院 中唐戸 山ノ本
40	バレーボールで利用しているから、なくならないでほしいです。	吉祥院
41	利用しているのでなくならないでほしいです。	吉祥院 中唐戸 山ノ本
42	利用させて頂いてますので、なくならない様よろしくお願い致します	吉祥院 中唐戸 久世
43	<p>従来の貸し館機能の継続と有料という提案が、概ね、他のコミュセンに対しても提案されています。しかし、有料に対する懸念が示すように、ますます来館者が減る方向に向かうのではないかと、方針の非合理性を感じます。むしろ、崇仁であれば、通常稼働率が高いひとまち交流館やキャンパスプラザと連携し、そこから崇仁コミュセンに利用希望者を流していくという三館の連携が考えられると思います。</p> <p>また、多くの方が指摘しているように、コミュセンが利用できるということの案内があまりに不足しています。テルサやキャンパスプラザの方がはるかに利用料が高いのに、利用率が高いのはなぜなのか。まず、インターネット上でも予約確認できるようにすることと、崇仁コミュセンそれ自体のHPを設置すべきです。また、名前も全市民に開かれているという意味で、「きょうとうるおい館」などと工夫し、利用希望者が集まりそうな、各行政機関、大学、市民施設などに案内を配布・設置すべきです。それが不可能な仕組みや体制上の問題があるのなら、まずその課題を開示し、議論すべきです。</p>	崇仁
44	<p>○ 壬生福祉センターは、地元の年寄りのいこいの場でカラオケや世間話をして、楽しんでいます。また、葬式などにも活用しており、引き続いてNPOなどに任せてください。</p> <p>○ また、緊急時(家からの連絡とか、他からの連絡など)に対応できるように、電話の設置をお願いします。</p> <p>○ 字が読めない書けない年寄りが自宅に郵便物が届いたら、どうしたらいいのか困っています。</p> <p>本当に差別はなくなつたのでしょうか? 次回の市長選には、門川さんに投票しません。私たち年寄りをいじめる市長さんには年寄りも団結します。</p>	壬生
45	利用させてもらっているのでもなく困ります。	吉祥院 中唐戸 山ノ本 久世

No.	御意見・御提案の内容 (特定のコミュニティセンターに関する御意見の場合は右側の欄に名称を記載して)	対象
46	<p>崇仁では貸し館機能に柳原銀行記念資料館の取り組みを絡めて有効活用すると提案されています。資料館は、年々来館者が減ってきていたものの、この間、持ち直しています。まず、コミュセンはもちろんのこと、塩小路東洞院付近に「資料館・うるおい館はコチラ」という看板を設置する必要があるでしょう。大阪人権博物館では駅前から歩道橋にまでデカデカと看板がでています。また、塩小路交番のところで、東と南にそれぞれの施設が別れることもきっちりと看板にして案内すべきです。公園や有料駐車場を作るのなら、それができるのではないかと。また、駐車場を作るのなら資料館に訪れる大型バス専用のスペースを2、3台確保することも極めて有意義です。実際にそのようなニーズがあることを受け止めて頂ければと思います。また、隣保としての同和行政はなし崩し的に終わりましたが100年近く続いた京都の隣保事業の総括は社会政策として、また、研究としても極めて重要な作業となります。コミュセン条例の廃止に伴い、資料保存・調査研究のセンターのようなものを柳原銀行を軸に設置・活用できないか、うるおい館の利用法として検討して欲しいです。世人研ではテーマ部会が拡散し過ぎ、施設も狭く、オフィス街にあるので空間としても歴史性を感じ取れないので難点です。</p>	崇仁
47	<p>前にも意見を出させてもらいました。 10年以上前から久世地域で「親子リズム」をしています。少子化の中で子育て中のママ達にはいろんな不安があります。現実には何組かの親子の相談や、又、いろんな困ったことで話をきいてあげるだけでも、（交流を深めて）大変よろこばれています。体育館が無料で使えた時には、体育館をいっぱい使えて、こどもたちは大喜びで毎週、元気に通ってきてくれました。今は、そんな走り回れるところがなくてかわいそうです。お金があればなんでも実現できます。3時間、使うだけで、2400円は子育てサークルは使うことができません。子育て支援はもっと身近かな所まで引き下げて公的な場所を使わせてほしいと願っています。強く願っています。</p>	久世
48	<p>数年前まで、市内には、気軽に使える施設がいっぱいありました。無料で。しかし、最近、有料（時間制）になって、とても使いにくくなってしまい、とても困っています。 確かに施設を維持するのはご苦労があると思いますが、市民が安心して気軽に使えるように是非ご検討下さい。</p>	久世
49	<p>辰己コミュニケーションを使用していますが、会館の駐車場がないのでサークル人数をふやせる為に使用したいです。地域、交流の為に高れい者の為にも会館を今までどおり使用したいです。</p>	辰巳
50	<p>錦林コミュニティセンターの活用についての提案 錦林コミュニティセンターは、本来の隣保館としての役割を終えた後も「ふれあい学び館」として地域の子ども達を対象に、「学びの場」としての役割を果たしてきました。 中でも図書館や色々な学習教室は、子ども達や保護者にとって「身近にあり」、子ども達だけでも「安心して」学習ができる場として、その役割は大きかったと思われる。 したがって、錦林コミュニティセンターについては、「図書館」と「学び教室」、を中心とした、従来の「子ども達の学びの場」に加え、アートに触れることの出来る「子ども達の学びと創造の場」としての活用を提案します。 ■図書館の活用イメージ 図書館については「ふれあい学び館」の従来の図書館の機能補充を図れればと思います。現在、当施設の近くには市立図書館が無く、府立図書館は子どもを対象とした図書はほとんどありません。左京区にある市立図書館は子ども達だけで行くには距離があります。 と言うわけで、当施設の図書館は市立図書館のサブ図書館として位置づけ、蔵書数は限定されても、市立図書館との連携で図書の貸し借りが出来るシステムを取り入れる。 また、小さな子どもを持つ子育て期のお母さん（出来ればお父さんも）方のコミュニケーションの場となるような、利用しやすいサロンや読み聞かせの場所を設ける。 自習室ではなく、子ども達が一緒に宿題をしたり、おしゃべりしながら学習できる、オープンな学習コーナーもあれば良いと思います。</p>	錦林

No.	御意見・御提案の内容 (特定のコミュニティセンターに関する御意見の場合は右側の欄に名称を記載して)	対象
50	<p>(続き)</p> <p>■学び教室のイメージ 学び教室については、従来からの漢字や英語の教室もあっても良いのですが、年に何回か開催されていたような理科教室のように、楽しく遊びながら色々なことが体験したり学べるような教室が、科学だけでなく文化や芸術などさまざまな分野で出来れば良いと思います。 ものを描いたり作ったり、絵画や料理や色々なワークショップを色々な企業や団体、大学や地域の学校と連携しながらやれないでしょうか？</p> <p>■運営のイメージ ここまでは、錦林コミュニティセンターについて提案してきましたが、運営については京都市内のコミュニティセンターを全て総括的に運営する母体が必要だと考えます。個々のコミュニティセンターの機能も先に提案した「子ども達の学びの場」として共通の機能を持つことが出来れば、企画運営は共通にすることが出来ます。個々のセンターが個々の運営企画を行うのは合理的ではありません。例えば、学び教室で実施される企画を1つ考えれば市内15ヶ所のセンターで使えます。このように、1つの企画を15のセンターで回して使えば非常に合理的です。 個々のセンターの日常の運営はボランティアや地元のNPOなどの活用が考えられます。運営母体がしっかりとした運営計画を立てることが出来れば、現場の個々のセンターでの日常的な運営は比較的素人でもやっていけると思われます。</p> <p>■大学との連携について 左京区には京都造形芸術大学や京都精華大学など、子どもを対象としたワークショップなどを実施している大学があります。 このようなワークショップに参加するためには、通常は子ども達や保護者が大学に行く必要があります。子ども達だけで参加することは困難です。 ワークショップの主旨としては初めてあった参加者同士が協力しながら進める、言うことが重要なのですが、小学生ぐらいの子ども達にとっては、普段から顔の知った仲間達と一緒に何かをやり遂げる方が絶対楽しいはずですよ。 ですから、大学でやられているこのような取り組みを、子ども達どうしても集まりやすいコミュニティセンターに出前して、実施していただくというのはどうでしょうか？</p> <p>■余剰教室の活用について 以上教室については、アトリエやギャラリーとして貸し出しては度でしょうか。現在のコミュニティセンターには多数の教室があり一時的に貸し出すには余り多い数です。ですから、長期的な利用が見込める芸術系のアトリエやギャラリーとして貸し出すことを提案します。 若手アーティストが常時その場所で制作活動することで、子ども達にとっても、本物のアートに直に触れることのできる場となり、また先ほど述べたワークショップなどもアトリエやギャラリーを借りているアーティストにより開催してもらうことが可能です。 近年のアートシーンにおいても、ワークショップによりみんなで作り上げるアートが増えてきており、特に若いアーティスト間に広がっています。京都には芸術に対して関心のある人も多く、芸術系の学生も多いことから、是非この部分は取り入れることが出来ればと思います。</p> <p>■最後に 今や、学校と家庭だけで「子ども達を見守り育てていく」と言うことはもはや限界に来ています。昔のように、学校や家庭に余裕があり、地域コミュニティが成立していた時代では無くなったからです。 子ども達を地域でも見守り育てていくことが求められている今日、学校や家庭での役目を、地域や行政が補完していく必要があるのではないのでしょうか。未来を担う子ども達は、地球の大切な宝です。そのためにも、錦林を含め京都市内の全てのコミュニティセンターが地域と連携しながら、「子ども達を見守り育てていく」場所の1つとして活用されることを願っています。</p>	錦林